

全国の区域内の理事の候補者 (その1)

■全国の区域内の理事の候補者

①コールサイン : **JG2GFX**
 (氏名フリガナ タネムラ イチロウ)

②氏名 : **種村 一郎**

③年齢 : 73 歳

④職業 : 無職

⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

立候補の所信
 会員として誇れるJARLを目指して

1. 財政の健全化に努めます。
2. 青少年の育成と活性化に努めます。
3. 電子QSLを導入し利便性と経費節減に努めます。
4. ローバンドの周波数不連続解消に努めます。
5. 関係機関・団体との更なる連携強化に努めます。

■全国の区域内の理事の候補者

①コールサイン: JA7AIW
 (氏名フリガナ ヤマノウチ トシヒコ)

②氏名 : 山之内 俊彦

③年齢 : 78 歳

④職業 : 会社役員

⑤無線従事者資格: 第2級アマチュア無線技士

立候補所信
 スマホ、パソコンによるネット通信の発達で、平成6年頃のJARL会員は18万人余りから現在は6万6千人で3分の一に減っておりJARLの経営は毎年赤字続きです。いつかは、運営が破綻します。改善計画として、面白いJARL、技術を学べるJARL、そして奉仕のJARLを目標にして、会員の増強を図っていきたいと思います。会員を増やします。そして、健全なJARLにします。皆様のご支援よろしくお願ひします

■全国の区域内の理事の候補者 全国の区域内の理事候補

①コールサイン : **JA1NVF**
 (氏名フリガナ ヨシヌマ カツミ)

②氏名 : **吉沼 勝美**

③年齢 : 70 歳

④職業 : 会社経営

⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

立候補の所信
 JARLの技術支援体制の強化を図ります。ソーラーパネルなどの環境ノイズ、各種電波障害への対応、スプリアス規定への対応など充実が必要です。また今迄以上に関係官庁とのパイプを太くし、活性化したJARLを目指します。理事は、会員の代表です。無線局の運用や最新技術についても精通しておくことが必要で、指導的リーダーであるべきです。その上でのJARL運営を目指します。 主な海外コールサイン AH0J

■全国の区域内の理事の候補者

①コールサイン : **JG1KTC**
 (氏名フリガナ タカオ ヨシノリ)

②氏名 : **高尾 義則**

③年齢 : 60 歳

④職業 : JARL会長(無報酬)

⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

立候補の所信 **会員皆様主役のJARL運営を継続!**
 会長在任中のご支援に心より厚く御礼申し上げます。会員皆様ファースト、会員皆様主役のJARL運営を継続し、サービス向上、魅力あるJARLに尽力します。財政改善、青少年育成、組織の活性化に努めます。何卒、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。所信の詳細は「JG1KTC」で検索をお願いします。

■全国の区域内の理事の候補者

①コールサイン : **JA8LJF**
 (氏名フリガナ ササキ ジュンイチ)

②氏名 : 佐々木 淳一

③年齢 : 63 歳

④職業 : ポリテクセンター旭川

⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

立候補の所信
理事でいることだけを生甲斐にして、何もしない事務局派を追放しましょう。老害組織を再生する為には痛みが伴うかも知れませんが、今のままだと組織自体の存続が時間の問題です。選挙に興味・関心の無い局も本気で改革を考えてみませんか。

■全国の区域内の理事の候補者

①コールサイン : **JH3GXF**
 (氏名フリガナ アビコ サトシ)

②氏名 : **安孫子 達**

③年齢 : 62 歳

④職業 : 会社役員

⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

立候補の所信 アマチュア無線の未来のためにJARLも変革が必要です。青少年が入りやすい青少年会員の制度を作ることや、電子QSLとインターネットによる会員サービスの構築を中心に、財政の健全化をすすめ、将来は会費の減額も視野に入れたシステムの構築を目指します。また、2020年の東京オリンピックに絡めて、さらなる免許制度の簡素化や周波数の拡張などの要望を推進したいと考えています。

全国の区域内の理事の候補者 (その2)

■全国の区域内の理事の候補者

- ①コールサイン : J A 8 A T G
(氏名フリガナ ハラ ツネオ)
- ②氏名 : 原 恒 夫
- ③年齢 : 7.3才 歳
- ④職業 : 団体役員
- ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

立候補の所信

後継者の育成はJARLの急務になっていきます。そのため、これまで他団体に依存していた養成事業をJARLの事業として取り組みます。養成事業は会員のボランティアで実施し、収益は青少年の育成事業や指導者の研修事業に使います。

みんなで後継者を育てましょう。